

## みんなの力で、がんを治せる病気に deleteC 大作戦、スーパーや商業施設、学校に広がる

9/20(水)夜8時「#deleteC 大作戦」後半戦スタート！  
 “8”にこだわる「スクラム投稿」チャレンジ企画を実施、応援を加速



特定非営利活動法人 deleteC(デリート・シー/代表理事:小国士朗)は、がん征圧月間中の2023年9月2日～9月30日を、がん治療研究のSNS啓発の強化月間とし、SNSでの1投稿が100円、1リアクション10円ががん治療研究・啓発活動への寄付に繋がる「#deleteC 大作戦」を企業・団体とともに実施しています。

取り組み開始直後には、わずか数分で1,000人を超える方々の投稿があつまり、「#deleteC 大作戦」と「がん治療研究」がX(Twitter)の全国と関東地方のトレンドワードにランクインするなど、SNSのタイムライン上に「がんを治せる病気にしたい」という想いがあふれました。

これまでに累計5万人が参加するこの取り組みをさらに加速させるべく、9月20日(水)を「#deleteC 大作戦」の後半戦スタート日として、“8”にこだわる「スクラム投稿」チャレンジ企画を実施します。がん治療研究の応援の輪をみんなの力で、さらに大きなものにしてまいります。

### 【deleteC 大作戦 2023 新たな動き①:スーパーマーケットや商業施設、学校への広がり】

今年の新たな動きとして、スーパーマーケットや商業施設、学校からの参加が応援を加速させています。

・サミット株式会社においては、122店舗の協力のもと、お店の従業員の方々からの投稿も集まっています。店内撮影も可能とするなど、「#deleteC 大作戦」参加者の強い味方です。

・大和リース株式会社の運営している商業施設「BRANCH」では、施設内のサインから「C」の文字を消す取り組みも実施しています。投稿の対象となり、1投稿につき100円が寄付されます。さらに、大和リースが運営する商業施設内に設置されている、deleteCモデルの自動販売機については、1投稿につき500円が寄付されます。



・クラーク記念国際高等学校においては、9月15日より18キャンパスにてdeleteCの取り組むことが決定し、キックオフMTGを実施。カジュアルソーシャルアクションを軸とした学びとアクションが広がっています。9月2日に開催した「デリシー文化祭」においては、デリシーカフェの企画・運営にも学生が加わり、がん治療研究の応援を後押ししました。

【deleteC 大作戦2023 新たな動き②:10月はリアルでも応援 寄付付き商品・チケットが登場】

10月には寄付付き商品・チケットの販売など、がん治療研究の応援の仕組みがスタートします。旅行や音楽鑑賞、スーパーでの買い物のほか、ワインやタオルなどの購入が寄付につながる取り組みのほか、購入額の全額が寄付につながるブックマルシェなども登場します。詳細は9月末に発表予定です。

期間中にあつまった想いと寄付は、deleteCの医療公募・選考会を経た医師・研究者に寄付と啓発を通じてお届けします。寄付額と寄付先の発表は2024年2月4日に開催する「deleteC 2024 -HOPE-」を予定しています。また、過去に寄付をお渡した医師・研究者の研究進捗などもSNS等で紹介をしております。

【“8”にこだわる「スクラム投稿」チャレンジ概要】



スクラム投稿チャレンジ deleteC!  
 とにかく「8」にこだわるべし!

思い思いにCを消して投稿!  
 対象商品集めてみた!  
 オンラインで大集合  
 対象施設でスクラム!?

8人、8種類、8パターン!?  
 スクラム投稿期間: 9/20-9/30

delete 大作戦

名称 : “8”にこだわる「スクラム投稿」チャレンジ  
 期間 : 2023年9月20日(水)~9月30日(土)23:59  
 実施内容 : #deleteC 大作戦 のルールのもと、  
 8人、8アイテム、8ツリー投稿など…思い思いに“8”にこだわる応援投稿を実施  
 毎日夜8時に一斉投稿実施

【「#deleteC 大作戦」概要】



#deleteC 大作戦 寄付につながる2つのアクション

1 投稿  
 1投稿 100円  
 参加企業の商品やサービス・ブランド名に含まれる「C」を消した写真を撮影。対象のハッシュタグをつけて、想いと一緒にSNSに投稿。

2 リアクション  
 1リアクション 10円  
 参加企業の公式アカウントが投稿した画像や動画に対して「いいね」「再生」「リポスト」などのリアクションをする。

①と②の合計額が deleteC を通じて **がん治療研究の寄付へ**

※1 各企業によりハッシュタグが異なります。対象一覧・ハッシュタグルールをご確認ください。  
 ※2 あつまった寄付金は、がん治療研究への支援に充てるほか、deleteCの活動運営費に使わせていただきます。

名称 : #deleteC 大作戦  
 期間 : 2023年9月2日(土)17:00~9月30日(土)23:59  
 実施内容 : SNSでの投稿や拡散が寄付に繋がる  
 参考方法 : 「#deleteC 大作戦」に賛同する企業・団体のブランドの商品やロゴに関連する「C」の部分を自由なカタチで消した画像や動画を、「#deleteC 大作戦」と「#参加企業・団体名、あるいはブランド名」(※2)をつけて参加者がSNS【X(Twitter)、Instagram】で投稿すると、1投稿あたり100円が、また、参加者が、参加企業・団体の公式アカウントが発信する画像や動画をシェア/いいね/再生をすると、1シェア/いいね/1再生/あたり10円が、がん治療研究への寄付・啓発費用として、参加企業からdeleteCに届けられます。(※2)投稿の際のハッシュタグについては、deleteC 特設サイト(<https://www.delete-c.com/post>)をご確認ください。

## deleteC について

### 「誰もが参加できる」カジュアルソーシャルアクション を通して寄付・発信を行い、がん治療研究を応援



#### ①販売・提供

企業・団体がロゴや商品から「C」の文字を消したり、マゼンダ色に染めて、コラボした商品・サービスを企画・販売します。

#### ②購入・利用

deleteCプロジェクトの商品を購入したり、サービスの利用をします。また、毎年9月の#deleteC大作戦では、SNS投稿や拡散が寄付に繋がります。

#### ③寄付

毎年1月末に、商品やサービスの売り上げの一部が、がんの治療研究を行う医師や研究者、研究機関に対して寄付されます。

#### ④発信(啓発)

寄付先であるがん治療研究に関する情報コンテンツを制作し、世の中に発信することで、寄付への透明性を追求し、「命の精」を広げていきます。

deleteC は、個人、企業、組織などの立場を越え、がんを治せる病気にしたい、という想いを自由に意思表示することで、誰もががん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発を通じて、1日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献します。具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体・個人が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどしたオリジナル商品・サービスを制作・販売・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付(※)されます。

毎年9月には「#deleteC 大作戦」と題し、SNS 投稿・拡散が寄付に繋がる啓発の取り組みを実施し、毎年1月末にワールドキャンサーデーに先駆けて開催する「deleteC -HOPE-」にて、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。選出したテーマの動画コンテンツなどを制作・発表し、deleteC がさまざまなメディアを通して幅広く情報発信します。現在は、参加企業 130 社、寄付者 5,000 名を超える方々に支持されており、これまでに 8 名の医師・研究者に総額 3,000 万円以上を支援しています。

(※) 寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

#### 【法人概要】

団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC (2022 年 9 月 22 日交付・認定番号4生都管第 703 号)

設立 : 2019 年 9 月 5 日

代表 : 代表理事 小国士朗

事業内容 : (1)ロゴ等を活用したがん啓発事業(2)がん啓発イベント事業

(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業

(5)その他その目的を達成するために必要な事業

支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>

HP : <https://www.delete-c.com/>